

令和8年 6月の住まいのきになる通信

(1) 住宅ローン金利 続く固定型上昇

延滞警戒で審査厳しく

*三菱UFJ銀行は、5月分の10年固定型住宅ローン金利を前月比0.18%高い3.15%に。

*金利負担増と住宅価格高騰を受けて、購入者は長めの返済期間を選ぶ傾向。

*大手5行平均は3.286%で10カ月連続の上昇。

*住宅ローン利用者の8割程度は金利水準の低い変動型を選びます。

*変動型のメガバンクの平均は1.082%となり、約15年ぶりの高い水準。

*全期間固定型で「50年」が占める比率は、2025年度に34.0%。

*返済期間の長期化は延滞や貸し倒れのリスクを高めています。

(2026年5月1日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 住宅ローン 10年固定金利上げ 6月

大手5行、平均3.5%超に

*大手5行は6月に10年固定型の住宅ローン金利を引き上げます。

*最優遇金利は平均で前月比0.27%高い3.556%。

*上昇は11か月連続。

*住宅購入者の8割近くが選ぶ変動型の住宅ローン金利については、6月は5行とも据え置きます。*5行平均の最優遇金利は1.055%。

(2026年5月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

